

利用規約

株式会社 I I L o

第1章 総則

第1条（規約の適用）

本規約は、株式会社 I I L o（以下「当社」という。）が提供する、D I I L o（顧客管理システム。以下「本サービス」という。）の利用に関し適用されます。本サービスの利用者は、本サービスの利用について本規約を誠実に遵守するものとします。

第2条（プライバシーポリシー）

当社は、当社所定のプライバシーポリシー（URL：<https://diilo.jp/privacy-policy>）に従って、利用者に関する情報を取り扱うことができるものとします。

第3条（用語の定義）

本規約において、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) 「利用契約」とは、本サービスを利用するための本規約に基づく契約をいいます。
- (2) 「申込者」とは、当社に利用契約の申込みをした者をいいます。
- (3) 「利用者」とは、当社と本サービスの利用契約を締結した者をいいます。
- (4) 「一般利用者」とは、利用者が本サービスを利用して提供するサービス、コンテンツを利用する者をいいます。
- (5) 「料金等」とは、本サービスの提供に関する料金その他の債務およびこれにかかる消費

税等相当額をいいます。

- (6) 「消費税等相当額」とは、消費税法の規定に基づき課税される消費税および地方税法の規定に基づき課税される地方消費税の額に相当する額をいいます。

第4条（規約の変更）

当社は、次の各号のいずれかに該当する場合、当社のホームページ（URL：<https://diilo.jp>）への掲載その他当社が適切と判断した方法にて、利用規約を変更する旨及び変更後の利用規約の内容とその効力発生日を公表又は通知することにより、本規約の内容を変更することができるものとし、変更日以降は当該変更内容が適用されるものとします。

- (1) 本規約の変更が、利用者への一般の利益に適合するとき。
- (2) 本規約の変更が、本規約の目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、変更の内容その他の変更に係る事情に照らして合理的なものであるとき。

第2章 本サービスおよび利用契約

第5条（本サービスの提供）

当社は利用者に対して、利用規約その他の規程に従い、本サービスを提供するものとします。

第6条（オプションサービスの提供）

1. 利用者がオプションサービスの利用を希望する場合には、オプションサービスの種類その他そのオプションサービスを特定するための事項について当社所定の方法により申込むものとします。
2. 利用者がオプションサービスを利用する際に、当該オプションサービスが当社以外の事業者によって提供される場合には、当社は利用者を代理して当該提携先事業者に対してオプションサービスの提供を申込むものとし、オプションサービス提供契約が成立した場合には利用者は当該提携事業者の定めるサービス約款に従うものとします。なお、当該提携事業者の定めるサービス約款が本規約と異なる定めをしている場合は当該オプションサービスについては当該サービス約款が優先するものとします。
3. 利用者がオプションサービスの利用の停止を希望する場合には、当社所定の方法により利用停止の手続を行うものとします。

第7条（本サービスの変更、追加または廃止）

当社は、本サービスの全部もしくは一部を、当社所定の方法によって利用者に事前通知することにより、変更、追加または廃止することができるものとします。この場合、第4条（規約の変更）の規定を準用するものとします。

第8条（契約の申込・成立）

1. 本サービスの利用契約の申込は、予め本規約に同意の上、当社が定める方法により、当社に対し行うものとします。
2. 利用契約は、前項に従い申込者により本サービスの申込がなされ、かつ当社が当該申込を承諾することで成立するものとします。また、本サービスの課金開始日は、当社所定の申込システムにおける申込日の翌月1日とします。
3. 当社は、次の各号の一に該当する場合には、利用契約の申込を承諾しないことがあります。
 - (1) 本サービスの利用申込の際に、利用者の申告事項について、虚偽の記載、誤記、または記載漏れがあった場合。
 - (2) 申込者が未成年、成年被後見人、被保佐人または被補助人のいずれかであり、申込の手続が成年被後見人によって行われておらず、または申込の際に法定代理人、保佐人もしくは補助人の同意を得ていなかった場合。
 - (3) 本サービスの料金あるいは、当社の提供する他のサービスの料金等について、申込者に

支払債務の履行遅延または不履行があった場合。

(4) 過去に不正使用などにより利用契約を解約されていることまたは本サービスもしくは

当社が提供する他のサービスの利用を停止されていることが判明した場合。

(5) 第18条（禁止事項）に定める禁止行為に該当するおそれがある場合。

(6) その他利用契約の申込を承諾することが、不適切であると当社が判断した場合。

4. 申込者は、契約が成立するまでの間はいつでも申込を撤回することができるものとしま

す。但し、当社が申込にかかる本サービスの提供準備に着手した以降は、申込者は、作業費等を負担するものとします。

第9条（契約期間）

1. 契約期間は、課金開始日を基準日とし、次の各号の単位で算出します。

(1) 月額プラン 1ヶ月単位

(2) 年額プラン 1年単位

(3) 3年プラン 3年単位

2. 本サービスの契約期間は、暦日単位とし、当社が本サービスの提供を開始した日から起

算して各契約期間が終了する日をもって満了とします。

第10条（利用サービスの変更）

1. 利用者は、当該利用サービスのプラン等の変更を希望する場合には、当社所定の方法に

より、当社に申込みものとします。当社は、前項の変更申込があった場合は、第8条（契約の申込・成立）の規定に準じ取扱います。

2. 当社は、前項の規定により変更申込を承諾した場合は、変更を承諾した日から、本

サー

ビスの利用について変更された事項を適用します。

第11条（契約の更新）

利用契約は、当社または利用者から、契約期間終了の1ヵ月前までに特段の意思表示がな

い限り、契約期間満了後は自動更新されるものとします。自動更新後の契約期間は、第9条

（契約期間）で定める契約期間と同一とし、利用契約の契約内容、料金は自動更新時の利用規約およびサービス料金表に従うものとします。

第12条（利用者の変更）

1. 利用者において相続または合併その他の理由によりその地位の承継があったときは、本

サービスの契約は承継者に承継される。この場合、承継者は30日以内に利用者の地位

の承継の証明を行い、当社所定の方法により当社に届け出るものとします。

2. 当社は、当社の裁量により必要と判断した場合には、前項に定める変更内容を証する書

類の提示を求めることができるものとします。

第3章 サービス利用料金等

第13条（料金等）

1. 本サービスの利用料金は、以下および当社所定のサービス料金表に定める通りとする。

- | | |
|---------|------------------|
| 1 月額プラン | 月額7万円、初期費用30万円 |
| 2 年額プラン | 年額77万円、初期費用30万円 |
| 3 3年プラン | 年額210万円、初期費用30万円 |

2. 本サービスの利用料金において、契約成立日から当該月末までの当初期間および解約月が1ヶ月に満たない場合でも、日割り計算は行いません。

3. 利用者は、サービス料金表に定める料金等の額に消費税等相当額を加算した金額を支払うものとします。

4. 当社は、規約において明示的に定める場合の他、当社に故意又は重過失がある場合を除き、当社が利用者より受領した料金等について、一切返還する義務を負わないものとします。

5. 本サービスの支払い方法を銀行振込とする場合、振込み手数料は利用者が負担するものとします。

第14条（料金等の変更）

1. 当社は、経済事情の変動または本サービスの業務内容の変更、拡張等によって料金等を変更する必要がある場合には、サービス料金表を改定することができるものとします。この場合、第4条（規約の変更）の規定を準用するものとします。

2. 当社は、前項による料金等の変更に付き、何ら責任を負うものではありません。

第15条（料金等の支払）

利用者は、当社に対し料金等を当社の規定する方法で支払うものとします。利用料金の請求を受けた利用者は、当社と合意した支払期限までにその利用料金を支払うものとします。

第16条（延滞利息）

利用者は、本サービスの料金等の支払期日を経過しても支払わない場合には、遅延期間につき、年14.6%の割合（日割計算）で計算して得た額を、延滞利息として支払うものとします。延滞利息は、当社が指定する方法で支払うものとし、振込手数料は利用者の負担とします。

第17条（端数処理）

当社は、料金、消費税等相当額その他の計算において、その計算結果に1円未満の端数が

生じた場合は、その端数は切り捨てるものとする。

第4章 利用者の義務

第18条（禁止事項）

利用者は本サービスを利用するにあたり、以下に該当する行為を行ってはなりません。

- ・法令又は本利用規約に違反する行為
- ・当社、他の利用者その他の第三者の権利・利益を侵害する行為、名誉・信用を毀損する行為、又はそれらのおそれのある行為
- ・公序良俗に反する行為、わいせつな行為、差別的な行為又はそれらを助長する行為
- ・本サービスの運営又はほかの利用者による本サービスの利用の妨げとなる行為
- ・虚偽又は不正確な情報を登録する行為
- ・同一の利用者が複数の利用者登録を行う行為
- ・他の利用者になりすまして本サービスを利用する行為
- ・本サービスを営利又は商業目的で利用する行為
- ・コンピューターウイルスその他の不正なプログラム・スクリプトを当社又は第三者に送信等する行為
- ・クローリング、スクレイピング又はこれらと類似する手段により本サービスに関する情報を取得する行為
- ・不正なプログラム・スクリプト等を用いて、サーバーに負担を与える行為
- ・改変、逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングその他ソースコードを解析する行為
- ・その他当社が不適当であると合理的に判断する行為

第19条（届出事項の変更）

1. 利用者は、当社に対する届出事項に変更が生じた場合には、速やかにその旨を当社所定

の方法により当社に届け出るものとします。

2. 利用者が本条に定める届出事項の変更を怠ったことにより利用者が不利益を被った場

合、当社は一切その責任を負わないものとします。

第20条（利用者の通知義務）

利用者は、本サービスを利用することができなくなったときは、その旨を当社に通知するものとします。

第5章 損害賠償

第21条（損害賠償）

1. 利用者が本サービスの利用に関して利用者の責に帰すべき事由により当社に損害を与

えた場合、利用者は当社が被った損害を賠償するものとします。

2. 利用者が本サービスの利用に関して第三者に損害を与えた場合、または第三者と紛争を

生じた場合、利用者は、自己の費用と責任でこれを解決し、当社は、当社に故意又は重過失がある場合を除き、責任を負担しないものとします。

第22条（責任の制限）

1. 当社は本サービスを提供すべき場合において、当社の故意または重過失により本サービス

が全く利用できない状態にあった場合、損害の賠償請求に応じます。

2. 前項の場合を含む利用契約に関して、当社が軽過失により負担する損害賠償の累計総額は、債務不履行、不当利得、不法行為、その他請求原因の如何にかかわらず、損害発生の原因となったサービスの料金等の11ヵ月分に相当する金額を限度とする。

第23条（免責）

1. 当社は、以下の事項について、いかなる保証もしません。

(1) 本サービスが、利用者の特定の目的に適合すること又は利用者が期待する機能、有用性、品質、水準若しくは価値等を有すること。

2 本サービスが利用者に適用される法令に適合すること。

3 本サービスにエラー、バグ又その他の不具合が存在しないこと。

4 本サービスにセキュリティ上の欠陥が存在しないこと。

5 本サービスにおいて掲載される情報の真実性、正確性、完全性、最新性等

2. 当社が、本利用規約に従って行う利用者登録の拒否、本サービスの停止又は終了、利用者登録の取消し、コンテンツの変更又は削除、本利用規約の変更、その他本サービスに起因又は関連して利用者が損害を被った場合、当社に故意又は重過失がある場合を除き、当社は賠償する責任を負いません。

3. 当社の債務不履行又は不法行為により本サービスに関連して利用者に損害が生じた場合、当社に故意又は、重過失がある場合を除き、当社は通常生ずべき損害（逸失利益その他特別の事情によって生じた損害を含みません。）の範囲内で、責任を負うものとします。

4. 利用者が本サービスの利用に関し、第三者により損害を被った場合には、利用者は第三者と損害賠償について自らの責めにおいて問題を解決することとし、当社に故意又は重過

失がある場合を除き、責任を負担しないものとします。

第6章 サービスの利用停止等

第24条（サービスの利用停止）

1. 当社は、利用者が次の各号の一に該当する場合、利用者に対して相当の期間を定めて催

告をし、当該期間経過後もなお履行または是正をしない場合には、本サービスの利用を停止することができるものとします。ただし、緊急やむを得ない場合は、事前に催告することなく直ちに本サービスの利用を停止することができるものとします。

- (1) 利用契約に関して、利用者の申告事項に虚偽の通知または記載、誤記等が判明した場合。
- (2) 支払期日を経過しても本サービスの料金等を支払わない場合。

(3) 利用者が未成年、成年被後見人、被保佐人または被補助人（以下「制限能力者」という。）

であった場合、または制限能力者となった場合で法定代理人等による記名押印がなされた同意書または追認書の提出がない場合。

(4) 本規約もしくは当社が別途定める規約等または法令等に違反した場合。

2. 当社は、利用者が次の各号の一に該当する場合には、事前に通知若しくは催告すること

なく直ちに本サービスの利用を停止することができるものとします。

(1) 利用者が、第18条（禁止事項）に定める禁止行為に該当すると当社が判断した場合。

(2) 利用者が本サービスに関する当社の業務の遂行または当社の設備、機器、システム等に

著しい障害を及ぼし、または及ぼすおそれがある行為をした場合。

(3) 利用者が、当社が提供する他のサービスの利用契約を締結している場合において、当該

サービスについて利用停止事由が発生した場合、またはこれらの利用を停止された場合。

(4) 利用者について、仮差押、差押、競売、破産申立、会社更生手続開始、民事再生手続開

始等の申立があった場合、または、公租公課等の滞納による処分を受けた場合。

(5) その他、本サービスの利用者として不適当であると当社が合理的に判断した場合。

3. 本条に基づき本サービスの利用が停止された場合であっても、利用契約が解約されるま

での間については、利用者は料金等の支払義務を免れないものとします。また、当社は本条に基づく本サービスの利用停止により利用者に発生した損害について、当社に故意又は重過失がある場合を除き、責任を負わないものとします。

4. 本条に定める利用停止事由が解消され、利用者が本サービスの再開を希望する場合、利用者は所定の再設定費用を負担するものとします。

第25条（サービスの緊急停止）

当社は、利用者側の本サービスの緊急停止要請に関しては、原則としてこれを受付けませ

ん。本サービスの緊急停止ができなかったことによって利用者が損害を被った場合も、当社

は 一切の賠償責任を負いません。

第26条（サービスの中止・停止等）

1. 当社は、次の各号の一に該当する場合には、利用者に事前に通知を行うことにより、または緊急を要するときは通知を行うことなく、本サービスの全部または一部を中止または停止できるものとします。
 - (1) 本サービスを提供するために必要な当社の設備、機器、システム等の保守上または工事上やむを得ない場合、またはこれらに障害が生じた場合。
 - (2) 電気通信事業者が電気通信サービスの提供を中止あるいは停止することにより利用契約に基づくサービスの提供を行うことが困難になった場合。
 - (3) 法令による規制、司法・行政命令等が適用された場合。
 - (4) 天災、事変、その他の非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、電気通信事業法第8条で定める重要通信を確保する必要がある場合。
 - (5) 前各号の他、当社が営業上または技術上やむを得ないと判断した場合。
2. 当社は、前項各号に基づき本サービスの中止または停止を行った場合、利用者その他の第三者に対して、いかなる責任も負担しないものとします。

第27条（サービスの終了）

当社が事業撤退などのやむをえない事由で本サービスの提供を終了する場合、当社所定の方法によって利用者に事前通知することにより、利用者は第9条の利用期間に拠ることなく、サービスを解約できるものとします。

第28条（情報の削除）

1. 当社は、次の各号の一に該当する場合には、利用者に通知することなくサーバーに保存されている利用者のデータ、プログラムおよびその他一切の電磁的記録（以下「データ等」という。）を削除することができるものとします。
 - (1) 掲載内容が第18条（禁止事項）に定める禁止行為に該当すると当社が判断した場合。
 - (2) 利用者によって登録された情報の容量が当社所定の容量を超過した場合。
 - (3) その他当社が法律および社会通念に従って当該情報を削除する必要があると合理的に判断した場合。
2. 前項により当社がデータ等を削除し、利用者に損害が生じた場合において、当社は一切の責を負わないものとします。

第7章 利用契約の終了

第29条 (利用者による解約)

利用者は、契約期間の途中であっても、契約期間終了日の1カ月前までに当社所定の方法により、解約の通知をすることにより、本契約を解約することができます。ただし、その場合であっても、契約期間の残期間分に相当する料金等の返金を求め、あるいは支払いを拒否することはできません。

第30条 (当社による解約)

1. 当社は、第23条(サービスの利用停止)第1項に基づき本サービスの利用停止を受け

た利用者について利用停止後も14日以上利用停止事由が解消されない場合は、契約期間の途中であっても、利用契約を解約できるものとします。

2. 当社は、利用者が次の各号の一に該当する場合には、直ちに利用契約を解約することができるものとします。

(1) 第24条(サービスの利用停止)第1項および第2項各号所定の事由に該当し、当社

の業務の遂行に著しい支障をきたすと当社が判断した場合。

(2) 第18条(禁止事項)に定める禁止行為に該当すると当社が判断した場合。

(3) 当社からの通知が到達しなかった場合、その他居所が判明しない場合。

(4) その他当社が当該利用者による本サービス利用の継続が著しく不相当と判断した場合。

3. 前2項の規定により利用契約が解約された場合、利用者は、本サービスの利用に係る

一切の債務につき当然に期限の利益を喪失し、未払債務の全額を直ちに支払うものとします。

4. 第1項、第2項により当社が解約処理を行い、利用者に損害が生じた場合において、当社は一切の責を負わないものとします。また、利用者は契約期間の残期間分に相当する料金等の返金を求め、あるいは支払いを拒否することはできません。

第31条 (利用契約終了後の措置)

1. 利用者は、利用契約の契約期間満了日までにサーバーから利用者のデータ等をすべて消

去するものとします。なお、契約期間満了日までに消去が行われなかった場合、当社は利用者のデータ等をすべて消去できるものとします。利用者は、必要に応じて、自らの責任においてデータ、コンテンツその他一切の情報の保存処置を講ずるものとします。自らの責任において保存処置を講じず、利用期間満了日後に当社が利用者のデータを削除した場合において、当社は一切の責を負わないものとします。

2. 利用契約終了後のドメインの移転・破棄の手続きについては、利用者は自己の費用と責任において行うものとし、当社は当該手続きについて何ら関与しないものとします。また、当社は一切の責任を負わないものとします。

第32条（解約によるシステム停止時期に関する規定）

第30条（利用者による解約）により、利用者が本契約を解約する場合のシステム停止時期は、利用者が指定するシステム停止日の15時以降とします。システム停止日が休日の場合は翌営業日を停止日とします。利用者がシステム停止日を指定しない場合のシステム停止時期は、契約期間終了日の15時以降とします。契約期間終了日が休日の場合は翌営業日を停止日とします。

第8章 その他

第33条（当社が自発的に行う補修）

1. 当社は、本サービスの提供において、利用者が次の各号の一に該当する事由が発生した

時は、次項の各号に定めるものの中からいずれかの方法を選んで本サービスのサーバーおよび、それに準ずる機器、ソフトウェアの補修を行うことがあります。

(1) 本サービスのサーバーおよび、それに準ずる機器、ソフトウェアが故障し、これが正常に動作しないとき。

(2) 本サービスのサーバーおよび、それに準ずる機器、ソフトウェアが第三者によって不正

にアクセスされる等の危険性が生じたとき。本サービスのサーバーおよび、それに準ずる機器、ソフトウェアが第三者によって不正にアクセスされ、その基本ソフトウェア又はその他の機能が不正に変更されたとき。

(3) 本サービスのサーバー、ソフトウェアがコンピューターウイルスに感染したとき。

2. 前項に定める当社が行う本サービスのサーバー、ソフトウェアの補修は次の各号に定め

るとおりとします。

(1) 本サービスのサーバーへの接続、および故障原因の調査

(2) 本サービスのサーバーおよび、それに準ずる機器の筐体、部品の取替

(3) 本サービスのサーバーおよび、それに準ずる機器にインストール済みソフトウェアの再

インストール

(4) 本サービスのサーバーおよび、それに準ずる機器、ソフトウェアが第三者によって不正

にアクセスされる等の危険性が生じたとき、その危険性を解消するために修正プログラム等の適用

(5) その他の補修

3. 当社は、前項に基づき本サービスのサーバーへの接続および故障原因の調査、その補修

を行う場合、補修の緊急性、重要性によっては、利用者に補修を行うことについての事前連絡および事後連絡をしない場合があるものとし、利用者はそれを認めるものとします。但し、このことにより利用者の本サービスの利用に何らかの影響を及ぼすと懸念される場合は、この限りではないものとします。

4. 前々項第4号に定める修正プログラム等の適用により、本サービスの利用に影響が生じた場合、その影響の解消は当社の費用負担で行うものとします。

5. 個別のカスタマイズを施したシステムについては、本条1項（2）の補修については対

象外とします。そのため、当社はカスタマイズ納品当時の技術水準を基準とするセキュリティのみを担保し、それ以降のシステムの脆弱性に関する対応は利用者の費用と責任で行うものとします。

第34条（当社が自発的に行う機能強化）

1. 当社は、本サービスの提供において、次の各号に定めるものの中からいずれかの方法を

選んで本サービスで提供するハードウェア、各種プログラム、各種アプリケーションの機能強化やバージョンアップを行うことがあります。

- (1) 本サービスのサーバーへの接続、および機能強化実施の事前調査
- (2) 本サービスのサーバーおよび、それに準ずる機器の筐体、部品の取替
- (3) 本サービスのサーバーおよび、それに準ずる機器にインストール済みソフトウェアの仕様変更
- (4) 本サービスのサーバーおよび、それに準ずる機器にインストール済みソフトウェアの再インストール
- (5) その他の機能強化やバージョンアップ

2. 前項に定める機能強化やバージョンアップにより、本サービスの利用に影響が生じた場合、その影響の解消は当社の費用負担で行うものとします。
3. 個別のカスタマイズを施したシステムについては、本条の機能強化の対象外とします。

そのため、当社はカスタマイズ納品当時の技術水準を基準とするセキュリティのみを担保し、それ以降のシステムの脆弱性に関する対応は利用者の費用と責任で行うものとします。

第35条（パスワード等の管理）

利用者は、当社が利用者に発行したユーザ ID およびパスワード（以下「パスワード等」という。）を善良な管理者の注意をもって適切に管理する責任を負うものとし、パスワードが漏洩しないように最善の注意を尽くすものとします。また、パスワードを紛失した場合は速やかに当社に届け出るものとします。

第36条（委託先への業務委託）

1. 当社は、本サービスの補修・機能強化の業務を行う上で当社が適正と判断した委託先に当サービスの業務の全部又は一部を委託する場合があるものとし、当社が事前に委託先の企業情報を利用者に開示することに拠り、利用者はそれを認めるものとします。
2. 前項により、当社は利用者が本サービスの申込み時に開示した情報を委託先へ開示することがあるものとし、利用者はそれを認めるものとします。

第37条（高負荷による利用の一時停止）

1. 本サービスで提供された共用のシステム、サーバーに対して、アクセスやプログラム処理により、著しく高い負荷をかけ、他の利用者に影響を及ぼした場合、または及ぼす恐れのある場合、当社の判断により本サービスの利用を一時停止することがあります。利用の一時停止は高負荷となっている間継続され、高負荷状態が解除されたことを当社が確認したのち、当社の判断で利用の一時停止を解除します。
2. 本条に基づき本サービスの利用が一時停止された場合であっても、利用者は一時停止中

の利用料金等の支払義務を免れないものとします。また、当社は本条に基づく本サービスの一時利用停止により利用者に発生した損害について、一切責めを負わないものとし、利用者はそれを認めるものとします。

第38条（決済機能に関する規定）

1. 本サービスの決済機能は、Stripe 社（以下、決済代行サービス提供会社）による機能を使用して提供されます。

利用者が決済代行サービス提供会社と直接契約、またはアカウント開設することにより、決済機能を利用可能になります。利用者と決済代行サービス提供会社間の契約に関して、当社は直接的に関与しないものとします。

2. Stripe 決済機能の利用時は決済取引額に応じた「Stripe 手数料」と「当社手数料」がかかります。「Stripe 手数料」の料率、返金など一切のルールは Stripe 社と利用者間の契約条件である Stripe 社の規約に従って運用されており、「Stripe 手数料」について当社は一切の責任を負わないものとします。「当社手数料」の料率はサービス料金表に定めるものとし、利用者は、サービス料金表に定める計算方法により計算した当社手数料の金額を当社に支払うものとします。ただし、「当社手数料」は当社の裁量によって変更できるものとします。この場合、第14条（料金等の変更）の規定を準用するものとします。Stripe 決済機能の利用時に利用者が一般利用者に返金した際も、「当社手数料」は返金されません。

3. 決済機能の免責事項を以下に定めます。

- (1) 利用者と決済代行サービス提供会社間の契約について、当社は一切の責任を負わないものとします。

- (2) 利用者と一般利用者間、また利用者と決済代行サービス提供会社間で発生した紛争について、当社は一切の責任を負わないものとします。

- (3) 利用者または一般利用者が使用する機器、設備、またはソフトウェアが本サービスの利用に適さない場合であっても、本サービスにかかるシステムの改変、修正の義務を当社は負わないものとします。

- (4) 不正アクセスや脆弱性攻撃により利用者または一般利用者に生じた損害について、当社はいかなる責任も負わないものとします。

- (5) 本サービスのアクセス不能、障害又は不具合発生等の瑕疵および仕様不備に起因して生じた利用者または一般利用者の損害について、当社はいかなる責任も負わないものとします。

- (6) 通信回線、ソフトウェア、ハードウェアなどのパフォーマンスの低下、障害、不正アクセスにより、本サービスのシステムの中断・遅延・中止等によって生じたいかなる損害について、当社は一切の責任を負わないものとします。

第9章 一般条項

第39条（秘密保持および個人情報の保護）

1. 当社は、日本国における法令、条例、法律等に基づく場合を除いては、本サービスの提

供に関連して知り得た利用者の個人情報を利用者以外の第三者に開示または漏洩しないものとし、かつ本サービスの提供のために必要な範囲を超えて利用しないものとします。

2. 当社は、電子メールの通信履歴に関しては、次項の場合を除いて、これを第三者に公開しないものとします。

3. 裁判官の発付する令状により強制処分として搜索・押収等がなされる場合、法律上の照会権限を有する公的機関からの照会（刑事訴訟法第197条第2項（注2）等）がなさ

れた場合その他法令の規定に基づき提供しなければならない場合、当社は利用者の合意をとらずに照会事項を開示する場合があります。

（注2） 刑事訴訟法第197条（捜査に必要な取調べ）

捜査については、その目的を達するため必要な取調をすることができる。但し、強制の処分は、この法律に特別の定のある場合でなければ、これを行うことができない。

第2項 捜査については、公務所又は公私の団体に照会して必要な事項の報告を求めることができる。

第40条（通知・連絡等）

1. 当社は、書面による郵送、ホームページへの掲載、その他当社が適当であると判断する

方法により、利用者に随時必要な事項の通知・連絡等を行うものとします。

2. 当社が、ホームページへの掲載により利用者に通知・連絡等を行う場合は、当該通知・

連絡等を掲載してから48時間を経過したときに、その他の手段による通知・連絡等の

場合は、当社が利用者に当該通知・連絡等を発信したときに、効力を生じるものとします。

第41条（準拠法）

本規約に関する準拠法は、すべて日本国の法令が適用されるものとします。

第42条（協議事項および管轄裁判所）

1. 本サービスの利用および本規約に関して、利用者と当社との間で問題が生じた場合には、

利用者と当社との間で誠意をもって協議するものとします。

2. 前項の協議によっても問題が解決しない場合には、東京地方裁判所または東京簡易裁判

所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

